

## 第21回小牧市地域協議会市民会議会議録

- 1 開催日時** 平成30年2月21日(水)  
午前9時30分～11時

**開催場所** 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

### 2 出席者

- (1) 市民会議委員 15名
- (2) 事務局 山田地域協働担当部長、協働推進課：入江課長、松浦係長、葛谷  
学校教育課：堀田課長補佐
- (3) 傍聴者 なし

### 3 会議資料

会議次第

地域協議会の状況報告について(資料1)

小牧市モデルのコミュニティ・スクール【概要版】(資料2)

来年度以降の地域協議会市民会議について(資料3)

### 4 会議内容

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会の状況報告について
- 3 コミュニティ・スクールについて
- 4 来年度以降の地域協議会市民会議について
- 5 その他

【司 会】

皆さん、おはようございます。

定刻になりましたので、ただいまから第21回地域協議会市民会議を開催いたします。会に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いいたします。

恐れ入りますが、ご起立をお願いします。

〔市民憲章唱和〕

【司 会】

ありがとうございました。ご着席ください。本日の会議であります。小牧市子ども会連絡協議会 伊東委員、小牧市区長会 小柳委員、小牧市老人クラブ連合会 水野(康)委員、小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター 水野(和)委員、小牧市保健連絡員 加藤委員の5名の方から欠席のご連絡を受けておりますので、報告させていただきます。なお、本日の傍聴者はありません。

それでは、本日の予定につきましては、お手元の会議次第のとおりであります。

まず初めに、稲垣会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

【稲垣会長】

皆さん、おはようございます。

本日は、ご多忙の中、第21回地域協議会市民会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、今年度2回目、こうして皆様方の顔を拝顔するのも約8ヶ月ぶりになります。地域協議会の状況ですが、私の地元の大城小学校区で昨年6月に設立され、事務局から後ほど説明があると思っておりますが、味噌地区の本庄小学校区が2月末に、味噌小学校区で3月に設立される予定であり、いずれの小学校区も4月からスタートするような予定だそうです。

これで市内の地域協議会は、陶小学校区、篠岡小学校区、小牧原小学校区、そして大城小学校区の現在4つ、さきほどの2つが増えますと、6つの地区になり、だんだん勢いがついてきたかなというように察します。

どの校区も、やはり区長等の経験者が中心になって取り組まれているような様子でありまして、これからの少子高齢化の時代なんかを考えますと、やはり元気な高齢者が地域で力を出して頑張っていたきたいなと思っております。

最後に、この市民会議も3期6年の一区切りとなりますので、来年度以降の委員構

成や役割の見直しがあると思います。本日は次の市民会議に向け、バトンタッチしていくために、忌憚のないご意見をたくさん出していただきますようご協力をお願い申し上げます。甚だ粗辞ですけれども、冒頭のあいさつにかえさせていただきます。

**【司 会】**

どうもありがとうございました。

それでは、会の議事進行は会長が行うこととなっておりますので、稲垣会長、よろしく願いいたします。

**【稲垣会長】**

それでは、早速ですが、次第の2、「地域協議会の状況報告について」ということで、説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

**【稲垣会長】**

ありがとうございました。ここで、皆さんからのご意見やご質問を伺う前に、地域協議会に関連する動き、地域と学校の連携という視点で、教育委員会からコミュニティ・スクールの方針について説明したいと申し出がありましたので、ここで説明を聞いて、その後、一括してご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

では次第の3、「コミュニティ・スクールについて」ということで、説明をお願いします。

〔事務局(学校教育課)から資料に基づき説明〕

**【稲垣会長】**

ありがとうございました。では、何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

**【林委員】**

今、説明をお聞きしましたがけれども、なかなかこのコミュニティ・スクールというものに関して、まだ我々、理解しがたいというか、中身については非常に難しいなと思います。

地域協議会との兼ね合いも考えると、地域協議会は小学校区単位だけど、中学校区単位はどう扱うのか。ひょっとすると地域協議会の組織自体を見直さなきゃいかんじゃないか。これから地域で団塊の世代の方が一気に高齢者になるからということをつくった地域協議会だと思うのだけれども、今度は子どもたちを何とかしよう、学校のほうを何とかしようということで、対象者が違うわけだね。

要は地域協議会の一部にコミュニティ・スクールが入るのか、コミュニティ・スクールの一部に地域協議会が入るのか、どちらが主体となるかによって考え方や組織構成は違ってくると思うので、一緒にやろうということになると、そういうことも考えていく必要がある。

地域の様々な団体や組織を集約してもらおうということ自体は非常に結構なことなので、集約してほしいとは思いますが、しっかり考えてやってほしいと思います。

あと、地域協議会の活動については、もちろん何かやるのに2, 3年経たないとものにならないというのは良く分かるんですが、交流促進型にかなりの予算を使い、課題解決型にはあまり予算が使われていない。これからだとは思いますが、こういう状況はやはり見直していかないといけないんじゃないかと思います。以上です。

#### 【事務局(学校教育課)】

分かりやすい説明がちょっと難しいんですが、先ほどの資料の中に、3番で小牧市モデルのコミュニティ・スクールというところにイメージ図があります。地域協議会と連携したコミュニティ・スクールを目指しますというところなんですけど、コミュニティ・スクールというのは、基本的に国の制度の中で動いていきますので、イメージ図のとおり、学校の中に会議体ができ上がります。

ここで、学校の先生等を含め、学校や子どもの状況、何ができるのかというような話し合いが始まり、これを実際に具体的な活動に結びつけようとしたとき、新たに組織をつくるのではなく、既に地域協議会が立ち上がっている地区であれば、地域協議会の役員さんに学校運営協議会のほうに1人か2人、代表で入っていただくような形で地域とのパイプ役になっていただき、活動の実践というのは、地域協議会の中で、できることからやっていけたらいいなという考え方ですので、どちらかというところ、地域協議会の一部のような捉え方になっていくと思います。

あと、林委員が言われた地域協議会の趣旨・目的の部分では、確かに超高齢社会において、地域の助け合いが必要不可欠だということから地域協議会はスタートしておりますが、それにもう一つ、新しい視点として、その地域の子どもたちの育成の部分

で地域のお力をお借りするという考えを持っていただけるとありがたいと思っています。

実際、地域協議会の活動報告を聞いている中で、例えば陶小の住民交流夏まつり、陶っ子ドッチビー大会、陶っ子もちつき大会、篠岡小のしのっ子クリスマス会、もちつき大会、小牧原小のあいさつ運動や大城小の設立記念コンサート、これらは全て地域の子どもたちが参加できる事業になっており、既に地域の子どもたちのことを考えた中での交流が始まっていると思いますので、こういう交流の輪がだんだん広がっていくといいのではないかというイメージです。

#### 【林委員】

中学校の立場、関わり方はどうなるのか。確かに事業としてはできると思うが、中学校の立場、関わり方が良く分からない。

#### 【事務局(学校教育課)】

例えば篠岡小学校区、ここは小中一貫なので混ざることにはないんですが、地域協議会で様々な事業をやっていく中で、中学校の関わり方はボランティアスタッフとしてお手伝いをしてもらっています。

具体的に中学生が何をやるかという、防災訓練のときには、地域のお母さん、お父さんたちと一緒に炊き出しを手伝い、参加者へ配ったり、クリスマス会ときには、小学生たちに工作づくりの指導をしたり、大人に混ざってスタッフの一員として協力してもらっています。

陶小学校区でも、桃陵中に声をかけ、桃陵中の陶小出身の子たちが、陶小でやるならということで、協力してくれたというケースもあります。そういう形で中学校のコミュニティ・スクールと地域協議会の関わり、連携をつくっていったらいいなというふうに考えています。

#### 【林委員】

私の聞きたいことは、中学生がどう関わるかではなく、委員として関わる地域の方がどういう形になるかということなんです。

#### 【事務局】

恐らく林委員のご質問は委員として関わる方が小学校、中学校でどうなるかという

ようなことかなと思うんですが、この件につきましては、今後、教育委員会と協働推進課で、話し合いをしていく中で、できるだけシンプルな形になるように検討していくということをお願いしたいと思います。

**【事務局(学校教育課)】**

そうですね。中学校にも学校評議員会がありますので、まずはその評議員会のメンバー構成の見直しをしていく中で、地域協議会が設立されている地区では、地域協議会の代表の方に中学校のコミュニティ・スクールの運営協議会にも入っていただけるよう声かけをさせていただくような形になってくると思います。

**【林委員】**

地域で役を受ける人からすると、結局、重複するわけなんです。そうすると、我々地域で受ける側が大変になるんじゃないかということです。

**【事務局(学校教育課)】**

そうですね。例えば北里地区だと、北里中学校が1つで、北里小学校と小木小学校の2つの小学校があります。仮に地域協議会がそれぞれの小学校にできていたとしたら、北里中学校の運営協議会のメンバーの中には、小木小学校の地域協議会からも入っていただく、北里小学校の地域協議会からも入っていただくというイメージになるかと思います。

**【林委員】**

そうすると、人によっては、中学校にも小学校にも出るわけですね。

**【事務局(学校教育課)】**

おっしゃるとおりで、多分兼務される人は出てくると思います。

**【杉浦委員】**

私は小牧原小学校区に住んでおりまして、小牧原小学校区は小牧中学校と岩崎中学校へ分かれるんですが、地域協議会は小牧原小学校区だという状況の中で、自分の身をどこに置くのが良く分からなくなってくる。

既にこういう区と学校区の不一致が大きなネックとなって地域協議会が発足がで

きていないところもあるのに、さらにもうひとつ新しいものができたらと思うと、非常に疑問があるんですが、その辺りはどのように考えられていますか。

#### 【事務局(学校教育課)】

具体的な動きとしては、この4月から各小中学校に学校運営協議会という会議をするための組織、場をつくっていきます。そのベースとして現在、学校評議員会がありますので、ここに地域、学校に関わりのある人をもう少し入れ込んでいくような形にしていきます。

そして、自分の行き場がどこなのかということで行きますと、例えば、私自身が今、北外山に住んでいまして、校区でいうと、小学校は小牧南小学校、中学校は応時中学校になります。

単純に小学校で何かやるよという、自分の校区が小牧南小学校という頭がありますので、そこは小牧南小学校に関わると思いますし、応時中学校で何かあるよと言われると、頭に応時中学校というものがありますので、応時中学校に関わっていくということだと思います。

全体で捉えると、すごく複雑に小学校区、中学校区との不一致があるのですが、単純に一住民の立場で捉えると、自分の小学校区、中学校区は理解されると考えております。

#### 【稲垣会長】

ちょっと、よろしいですか。このコミュニティ・スクール、学校区の問題につきましては、本日、概要の説明を聞いたということくらいにしておかないと、まとまらないと思いますので、一旦、ここまでとさせていただきます、これからの具体的な動きとともに徐々に考えていっていただければと思います。

本題は地域協議会をどうやって進めていくかということで、改めて皆さん方のご意見をお願いします。どなたかご発言はありますか。

#### 【野村委員】

本日のいろいろな説明を聞かせていただいて私が感じたことを1つ申し上げますが、今、地域協議会が設立されている4地区と今年度予定されている2地区について、偶然かもしれませんが、南部地区、西部地区といった既存のコミュニティがある地区は全く出てこないわけです。その辺りについて、事務局としてどのような受

け取り方をしてみえるか、お伺いしたい。

#### 【事務局】

おっしゃるとおり南部地区、西部地区にはどちらも既にコミュニティ運営協議会という組織が存在しており、住民主体の交流イベントをはじめ、環境、防犯など様々な活動を展開されております。趣旨・目的について、この地域協議会と重なってくる部分が多くありまして、やはり既存の組織や活動をどう整理して、地域住民へどう伝えていくかということが大きな課題であり、地域協議会が設立されない理由ではないかと分析しております。

#### 【前田委員】

私はこの地域協議会を進めていくにあたり、市の職員がよく頑張ってみえるなという感じを受けます。それぞれの地域の課題を小学校区単位で集まり、いろいろと話し合っ、連携しながら、解決を目指すという理念は素晴らしいと思いますので、いかにうまく地域住民へ伝えるかということがポイントだと思います。

やはりうまく伝えないと、面倒くさいとか、負担になるとか、そういう雰囲気になってきますので、その説明をうまく伝えることができれば、多分いいものになっていくと思います。以上です。

#### 【吉田委員】

私、民生委員という立場で全体を考えていく中で、いつも申し上げますように、福祉部門に関しては、民生委員は全て協力するというをお願いし、みんな承知しているわけです。

ただ、なかなか地域住民からの盛り上がりは薄く、やはり地域協議会の必要性、危機意識が薄いということが一番の課題ではないかと感じておりますが、何とか進めていかなければなりませんし、私自身も協力は惜しまず、やっていきたいと思ひます。

#### 【濱地委員】

私は新たに地域協議会が発足するという報告やいろいろな働きかけをやっているという報告を聞いて、着実に進められていると感じました。

また、学校運営協議会の説明を初めて聞いて、大変興味深く聞かせていただきました。実は個人的に中学校で図書ボランティアをやっているんですが、全然聞いたこと

がありませんでした。

というのは、私は図書ボランティアとかPTAもやっていたんですが、今から十二、三年くらい前、当時の中学校が荒れていたとき、校長先生と地域のお父さんたちが発起人みたいな感じになって、「おやじの会」というのを立ち上げて、親と地域と学校で、もっと地域の子どもたちに目を向けていこうという活動がされていたんです。

ただ、子どもたちが落ち着いてくればそれは自然になくなっていきました。

ほかには、私自身が趣味で歌を歌っているんですが、音楽教育の一環で、音楽交流会みたいなことを、多分それも10年くらい前だと思うんですけども、小牧小学校でやらせていただいたことがあります。ついこの間も、小牧工業高校で歌わせていただいたんですけども、結局、それが具体的に子どもたちにどう響いたのかとか、次にどんなふうにつながっていくのかとか、そういう続きの流れがなかった。

単純にそういうことをやりましたっていう、一過性のイベントに終わってしまった印象だったのですが、この学校運営協議会のような組織を通じて、学校と地域と連携したり、私たちみたいに趣味を持っている人、ボランティアをやっている人との連携の中で、やりたいことの提案が次につながっていくというのではないかというところで、すごく期待感があるなと感じました。

なので、今はこの市民会議の委員という立場でここにいますが、今後はこういう形でも関わっていけるんじゃないかなということを感じました。以上です。

#### 【上坂委員】

いろいろ話したいことはたくさんあるんですが、地域協議会を進めていくにあたり、そもそも何のためにつくるのかという目的が共有できていないと、会社でもそうですけれども、細かいところへ入り込んで、大筋のところは全く読めないような形になっちゃうと思います。

本庄小学校区が2月末に設立ということですが、実は温度差がものすごくあるんじゃないかと感じています。すごく一生懸命やっていた人がいる反面、「地域協議会って一体何」とか、「何をやったらいいのかわからない」というような人もたくさんいるんです。

ただ、やはりみんなでやろうと、とりあえず大筋で合意して、それで細かいところは後で考えていくと、こういう進め方をしないと地域協議会はできないんじゃないかと、最近になってわかってきたんです。

やはり一番は人の問題です、〇〇会に入りたくない、ボランティアをやりたくない

という人が大勢いる中で、どうやって引っ張っていくかということが課題であり、そのためには、やはり市内のそれぞれの地域で、安心安全で快適な生活ができるという目的を共有し、せっかくやるなら地域のみんで盛り上げていく必要があるということをお伝えすることが重要なことだと思います。

#### 【林委員】

このコミュニティ・スクールは文部科学省の方針で、小牧市では平成30年度中に発足するということが説明があったが、地域協議会もこのぐらいの勢いでやったらどうかということをお前から言っておりますが、そろそろそういう方針を打ち出さないと、話し合いだけで、全ての小学校区につくることはできないと思います。

#### 【秦野委員】

皆さんの意見は本当にもっともな意見だなというふうに思います。

ただ、こうやって各地域協議会の報告をいただいたのはいいんですが、やはり2年目、3年目を迎えて、いろいろな課題が多分明確になってくると思うんです。

会議の進め方であり、参加率の問題であり、いつまでも一緒の人がやっているだとか、役員の交代どうするんだとか、何か一部でやとるんじゃないかというようなこととか、ほとんどの住民は実は知らないんじゃないか、無関心じゃないか、そういう意見が出てきているはずなんです。

だから、そういう課題について、この場で報告をしていただく中で、じゃあどういうふうに解決していくのか、ということについて皆さんの意見をいただくのがこの市民会議の役割ではないかなと思います。

各協議会に、市の職員さんも本当に伴走しながらやってみえるのであれば、そういった課題なんかをこの会議の中で議論していけるといいのではないかと感じました。

あとは、せっかくやっぺいらっしゃることをどうやって地域の皆さんに伝えるか、地域へ出てくる人は大丈夫なんです、出てこない人、取り残された人をどう支えていくのか、本当に今、こうやってコミュニティ・スクールの提案もありましたが、この運営も、どうやって皆さんが関わりながらやっていくのかを考えないといけない。

小学校と中学校との問題も出ました、やはりよく分からない部分が多いです。資料の説明書きには、小学校は学校支援、中学校は地域貢献ということも書いてあります。

ただ、実際にそのコミュニティ・スクールができたときに、どんな活動をやっているのか、どんなふうに効果的にやっぺいけるのかということは、よくよく考えてやら

ないと、何か殻だけつくって、役員だけやらされて、みんな疲れちゃって、次の受け手がいないみたいな形になってはいけないと思います。

ですから、こういう協議会のような組織の運営の仕方をみんなで学ぶ場をつくったりだとか、こういうふうにするともっと人が集まってくるよだとか、ちょっと楽しさも加えながら、勉強会なども取り入れながら、やっていけるといいのではないかなと思います。以上です。

#### 【事務局】

今、秦野委員からのご意見については、次の部分につながるかなということを感じましたので、来年度以降の地域協議会市民会議について発言してもよろしいですか。

#### 【稲垣会長】

では、そのまま説明していただければと思いますので、次第の4、「来年度以降の地域協議会市民会議について」、説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

#### 【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

では、何かこの機会に聞いておきたいことがありましたら、ご意見やご質問はありますか。なければ、このあたりでそろそろ締めさせていただきたいと思います。

それでは次第の5、「その他」ということで、事務局、お願いします。

#### 【事務局】

それでは、その他ということ、話は変わりますが、以前にこの会議でもご意見を伺いまして、昨年10月からスタートしたポイント制度の状況について、ご報告させていただきたいと思います。

このポイント制度に参加する方を「お互いさまサポーター」と呼んでおりまして、そのお互いさまサポーターの登録者数が、2月1日現在で695人となっています。

また、そのお互いさまサポーターの方を受け入れる団体の登録につきましては、地域のサロンと介護施設があるんですが、まず、地域のサロンにつきましては53のサロン、介護施設につきましては、市内で大規模の特別養護老人ホームということで、5施設が登録をさせていただいております。

次にポイントの種類につきましては、今のサロンのサロンポイント、介護施設での介護施設ポイント、あと、地域協議会を通じた地域ポイントというのがあります。

3つ目の地域ポイントにつきましては、現在のところ、実施している地域協議会はありませんが、現在、篠岡小学校区と小牧原小学校区の2つの小学校区で、この地域ポイントを活用した地域の高齢者支援の仕組みを検討しており、来年度のできるだけ早い時期に実施できるよう支援していきたいと考えています。

また、全体の流れとして、2月までの活動で本年度は締めるということで、現在、ポイントの交換申請の途中でありまして、3月下旬に市内限定商品券との交換を行う予定です。

さらには今年度、サロンの代表者の方々などに、この制度の活用などにつきましてアンケート調査を実施し、約9割の方から、「今後もお互いさまサポーターとして活動したい」というような回答をいただいたところであります。

最後に、自由意見の中で「交換手続の簡素化だとか、活動の対象範囲の拡大などについて見直したらどうか」というご意見もあり、取り入れられるものは今後取り入れていきまして、皆さんが参加しやすい、活用しやすい制度にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 【稲垣会長】

ありがとうございました。

では、最後になりますが、本日の会議全体をふまえ、部長からまとめのひと言お願ひできますか。

#### 【地域協働担当部長】

たくさんのご意見、あるいはご要望等をいただきまして、ありがとうございます。

ただいま協働推進課長からも報告いたしましたけれども、ポイント制度につきましては10月からスタートし、始まったばかりでございまして、今後、手続きの方法だとか、あるいはポイントの付与期間等を含めまして、課題を洗い出し、さらに改善すべきところは改善していく考えでおりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、地域協議会につきましても、今年度は何とか複数の地区での設立ができるような状況になってまいりました。

ただ、市内には16小学校区ございまして、来年度以降、特に今まだ立ち上がっていないところに対し積極的に勉強会などの説明をしていく中で、設立を加速していき

たいと考えておりますので、委員の皆様方にはいろいろなところでご支援、あるいはお力添えをいただければと思います。

最後に、現委員の皆様におかれましては、本年度末で任期満了ということで、長い間、誠にありがとうございました。

**【稲垣会長】**

ありがとうございました。

最後に何かご意見がある方はおみえですか。どんなことでも結構です。

なければ、会を締めさせていただきたいと思います。

この2年間、皆様方には大変熱心に意見を言っていただき、本当に私も幸せだったなと思っております。

これから少しでも早く地域協議会ができることを皆さん方と一緒にご祈念いたしまして、終わりの言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。